## 平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		旧東京音楽学校奏楽堂改修						所管	所 文化産業観光部 文化振興課		
行政計画		事業NO. 52 計画事業名 旧東京音楽学校奏楽堂の保全									
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出 [小 柱] (1)文化の継承と発展 [施 策] ①地域文化の保存と継承						事業の開始・終了年度   [事業開始] 平成 2 4 年度   [終了予定] 平成 3 0 年度			
	根拠法令等	要綱 〔法令等名〕 重文 旧東京音楽学校奏楽堂修理委員会設置要綱						<del></del>			
	事業対象	直接の対象 : 区民をはじめ、広く一般 最終的な対象 : 同上									
	事業目的	重要文化財である旧東京音楽学校奏楽堂を今後も「生きた文化財」として活用するために 化財的価値を保存し後世へ継承していく。					-保存活用工事を行い、奏楽堂の文				
	事業内容 [29年度]	・保存活用工事(建築:平成27年12月~/設備:平成28年5月~/環境整備:平成29年12月~ ・工事設計監理委託(建築:平成27年8月~/設備:平成28年5月~/環境整備:平成29年11」 ・パイプオルガン修理委託(平成28年4月~) ・保存活用工事及びパイプオルガン修理に伴う検討・調整(修理委員会1回、工事定例会22回 ・リニューアルオープンに向けた記念式典・事業や再開館後の運営等の検討						年11月~)			
	委託の有無	一部委託	未託内容	・保存活用工事設計監理業務				[事、設備工事、	環境整備工	<b>[</b> )	
	補助金の有無	国∙都	安武内台		工事説明パネ						
事務事業の実績	種別	指標の	の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	実績	29年度 目標値	達成率	
		保存活用工事(建築)出来高率		%		1.0	53.0		100.0	98.0%	
	活動指標	体行为用工事(建案	/山木同牛	70	_	設計•工事	工事		工事	96.0%	
						1241 - 4					
	成果指標										
						27年		28年度			
	決算額(単位	スコフト(人供事な)	コフト(1件事など)			13,535 7.619		143,531 321,5 <sup>-1</sup> 5,796 8,7 <sup>-1</sup>			
	事務事業コス		人にかかるコスト(人件費など) 物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			11,182			5,796 8,715 32,983 30,590		
	   単位:千円	7.04.0-	他のコスト(扶助費・補助費など)			2,354			110,548 290,92		
	( <del>+</del> 12 · 113	総経費				21,155		149,327	149,327 330,		
	財源項目	受益者負担	担額(使用料・手数料・負担金など)			0		C	0 0		
	(単位:千円	<u> </u>	定財源(国や都の支出金・財産収入など)			4,572			58,890 121,758		
	一阪約派(2								90,437 208,471		
	前回評価から29年度 に改善した事項 平成27年度から保存活用工事を引き続き実施し、平成29年12月には環境整備工事に着手した。また、文化財工事や奏 楽堂に対する理解を深めていただくために、工事を説明するパネルやチラシを作成し、広く周知を行った。								事や奏		
		評価	評価の理由								
評価の視点	必要性	1		後も「生きた文化財」として保存・活用するための保存活用工事は計画どおりに進んでおり、平成30年11月の 射館及び記念事業の実施をもって完了予定である。							
			本事業は、平成26年度までに策定した保存活用計画と工事基本計画に基づいて工事を進めており、また、国、 部からの補助金を最大限に活用しながら効率的に実施している。								
			重要文化財建造物としての価値を維持していくため、学識経験者や専門家からなる「重文旧東京音楽学校奏楽 堂修理委員会」を設置し、保存活用計画及び工事基本計画に基づき事業を適切に実施している。								
	目的達成度	平成28年度の工事過程において外壁を解体したところ、新たに破損箇所が 3ヶ月の工期延長の必要が生じたが、その他においては計画通り工事を進									
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。 今後の方向性 サナ											

奏楽堂の文化財的価値を後世へ継承していくための保存活用工事は、計画どおり完了し、平成30年11月にリニューアルオープンを迎える予定であるため、本事業については終了するものである。

孤大 改善 維持 縮小 廃止・終了